

1. 検討概要：「JSWTA0001及び導入手引書改訂委員会」での検討

- JSWTA0001：「小形風車の性能及び安全性に関する規格」
 - ・ 目的：本規格に適合する製品の性能及び安全性に係る信用を与え、また、製品相互の比較手段を提供する。
- 導入マニュアル：「小形風車導入手引書」
 - ・ 目的：設置者が実際に導入する際に実践的な情報を得るための参考図書を提供する。

*1：小形風車は用途別に様々なタイプの風車が存在する。

- ◆ 系統連系2タイプ： (1) 電力グリッド接続（逆潮あり） (2) 構内グリッド接続（逆潮なし）
- ◆ 独立電源2タイプ： (3) バッテリー接続 (4) モニュメント用途

2. 検討内容：小形風車の安全性確保、市場の苦情や不満の解決、資格者制度導入

- ① JSWTA0001は(1)の逆潮ありのタイプの風車機器の設計要件としてしか使用されていない。JSWTA0001の改訂の必要性がある。Appendixとして、(3)独立電源や (4)モニュメント用途の風車の耐久性試験を入れる。
- ② 既に導入し系統連系された風車の苦情や不満が山積となっている。
 - a 発電量不足
 - b 故障が多い
 - c 周辺住民との問題
 - d 販売会社やメーカーの撤退
- ③ JSWTA0001は機器の設計要件であり、系統に連系する風車の②のb「故障が多い」に関しては、JICSの最新版と同等とする事で、より安全な風車の設計を促す。
- ④ 上記②のa,c,dの問題は、導入マニュアルを導入ガイドラインとして位置付け、発電事業者に対し、風力発電設備の導入に関する指針となるべく、ステークホルダーの満足度向上を図る目的で改訂をおこなう。

3. 進捗状況：2019年12月～現在まで、3回の改訂委員会を開催

4. 今後のスケジュール：2020年8月までにJSWTA0001と導入ガイドラインの改訂素案を作成、更に、事故や不具合、メンテナンスチェックシートの提出を有資格者制度により、協会に提出させる方向で考えている。